

「袖ヶ浦駅北側開発」・公共事業下請け先を質問したら「懲罰」!?! 市民の目・耳ふさぐ暴挙は許せません!

前代未聞! 市議会で日本共産党議員の「口封じ」

市民のみなさん、いま開催中の袖ヶ浦市議会で、議会制民主主義を破壊する、たいへんなことが起こっています。

日本共産党のしのぎ典之市議が九月六日の一般質問で、「袖ヶ浦駅北側開発」の見直しを求める市民運動にふれ、さらに市の公共事業の下請けに特定業者が集中している問題を追及しました。

市当局がしぶしぶ、保守系市議が代表を務める業者名を答えたところ、突然、平戸市議が「動議!」。「市民運動を敵視する議員がいるとする発言だ。特定企業の名前を出すのは問題だ」と当局の答弁をさえぎりました。

この動議について七日の議会運営委員会で

は、録音テープも再生し、「市民運動を敵視する議員」という発言はしていない、「不穏当な発言はなかった」と確認しました。

しかし十名の市議が、「議会の品位を下げた」と懲罰動議を本会議に提出し、賛成多数で「懲罰委員会」の設置を強行したのです。

十五日には、しのぎ市議に対する「懲罰」が審議されます。こうした不当多数の横暴が許されてよいのでしょうか。

「懲罰」強行の「北側開発」推進勢力に 市民の良識の声を突きつけましょう

しのぎ市議の質問は、民間資本も投げ出したバブル期の開発を、いまやる必要があるのか、「公共事業が、利権の温床になっていないか」などの、広範な市民の疑問に答えられたものでした。

日本共産党南部地区委員会と党袖ヶ浦市議団は八日、議長にたいして今回の懲罰動議こそ「議会の品位を下げがすもの」と抗議文を提出しました。

議会は、市政の問題点を明らかにするのが仕事です。今回の事態は、市民からも疑問の

多い総事業費二百億円という「袖ヶ浦駅北側開発」をすすめる上で、一番の障害となっている日本共産党議員の口を封じ、市民の目と耳をふさごうとする許されない暴挙であり、議会の自殺行為とも

いふべきものです。不当な「懲罰」をやめさせ、議会制民主主義を守りましょう。

日本共産党の二議席で、清潔・公正な市政を

日本共産党は、いつさいの企業・団体献金を受け取らない唯一の政党です。だからこそ、不正や利権疑惑を徹底して追及できます。

袖ヶ浦市でもこれまで、土地開発公社による公有地先行取得にあたっての利権問題や、法令違反を追及してきました。このなくては

ならない日本共産党の二議席と市民の共同で、ムダで過大な北側開発を凍結・見直し、全国でも有数の財政力を生かし、国保税引き下げや子育て支援などの、市民の願いを実現しましょう。



市議会議員
あきば光枝



市議会議員
しのぎ典之

日本共産党演説会

九月二十六日(日)午後二時
袖ヶ浦市根形公民館
弁土 小池 晃 参議院議員

袖ヶ浦民報 9月緊急号外

日本共産党袖ヶ浦市委員会の見解をお知らせします。ご意見をお寄せください。0438(60)2234



懲罰動議の市議10人

(提出者) 関政彦、(賛成者) 小野光正
鈴木喜久男、出口清、鈴木勇、近藤利勝
岡本上、遠山修、平戸襄、影山喜一